

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和7年度)

令和8年3月21日

(宛先)岡崎市長

団体名 岡崎市少年少女発明クラブ

代表者 村松 和明

構成員 55人(※令和8年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。
日手代を担う少年少女に科学技術に興味・関心を追及する場を提供し、創作活動を通い
作品を完成させる喜びを体験させ、科学技術に対する夢と情熱を育み、創造性豊かな
人間形成を図ることを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
8/23	イモール 岡崎北	近隣住民 イベント参加者	50	イベント参加者に 親子工作教室を実施
9/21	岡崎市 六名会館	岡崎市内 全小中学校	100	市内全小中学校から作品を募集し、 審査会、表彰式を行った

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

地元企業のイベントでは、親子で協力して作品を完成させ、親子と一緒に遊ぶ姿が
見られた。作品展では盛大な表彰式を行うことができた。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← (5) 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

イベントに参加した親子、市内の小中学生に作品を創りあげて楽しむ姿を伝えることが
できている為。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。